

## 「時間を大切に」

校長 桐野 和之

「Time is money .(時は金なり)」は古くからのヨーロッパの諺だと思っていました。ところが、実はそうではなく、イギリスの小説家、リットン卿が書いた「Money」という作品の中の言葉だそうです。資本主義に徹し始めた実利主義的なイギリスの言葉です。

かつてはこの言葉によって時間厳守が勧められていました。しかし、文字通り、現金な言葉なので、この頃はあまり引用される事が少ないようです。だからといって、時間を大切にする習慣が薄れては困りません。人との約束の時間に遅刻したら、相手の時間を奪ってしまうことにもなるのです。決して良い気持ちはしないでしょう。第一、こんな事を何度も繰り返せば、結局は信用を失うことになります。「そんなことはわかっている。だけど、それは大人になってからきちんとやればいいんだ」と思っている人がいるかもしれません。しかし、子どもの時の習慣というのは家の土台みたいなものです。土台というのは表には見えませんが、建物をしっかり支える重要なものなのです。そして、「時間を守る」「挨拶ができる」「約束を守る」等の習慣を身につけるといことは、まさに土台づくりなのです。また、あらゆることがチームを組んで仕事を進める時代においては、「時間を守る」等のことができない人は即、はじかれてしまうかもしれません。



相手のことを考える上で最も基本的なことが、この「時間を守る」、もっと広げて考えれば、「時間を大切にする」ことなのです。無論、「時間を大切にする」というのは、ただ、「時間を守る」に止まらず、内容のことも含みます。例えば会議。時間の開始時間を厳守するだけでなく、その内容についても時間を無駄に引き延ばさない心がけを常にもちたいものです。いわゆる「小田原評定」(豊臣秀吉に攻められた北条氏が小田原城の中で戦うか、降参するか議論しているうちに滅ぼされてしまったことから、結論の出ない会議のこと)はマイナスにこそなれ、決してプラスにならないと私は確信しています。授業も同様です。その内容をしっかり自分のものにしようと集中した時と、ただ聞き流し、時の流れに身を任せているのでは、同じ50分でも、まるで時間の価値が違います。



人間が平等に与えられているただ一つのものが「時間」。どんな人でも1日は24時間です。そして、だからこそ、時間はもっと有効に使いたいと思います。

私はまだみたことがありませんが、ある大学の図書館の大時計には、「時は逃げ去る」という意味のラテン語が刻まれているそうです。全文は「時は逃げる。そして、決して帰らない」ということですが、心に刻みたい言葉です。

# 平成 27 年度 教職員の異動

## 〔 転 出 〕

- ・保健体育科 日吉 斉 先生 定年退職 再任用教員として大泉学園中学校勤務
- ・美術科 椋沢 尚司先生 勸奨退職
- ・事務職員 古山 葉子さん 退職
- ・社会科 船木 周 先生 異 動 練馬区立大泉北中学校へ
- ・英語科 鈴木 守 先生 異 動 小平市立小平第二中学校へ
- ・保健体育科 千葉 和美先生 異 動 板橋区立志村第一中学校へ
- ・栄養補助員 長濱 善子さん 異 動 練馬区立北町西小学校へ
- ・英語科 廣瀬由紀子先生 産育代教員勤務終了、文京区立第六中学校へ



## 〔 転 入 〕

- ・保健体育科 日吉 斉 先生 再任用教員として引き続き本校に勤務
- ・社会科 浅沼 和子先生 練馬区立石神井中学校より
- ・美術科 高野 正子先生 荒川区立第九中学校より
- ・保健体育科 宮坂 春子先生 板橋区立板橋第三中学校より
- ・英語科 山邊 敦 先生 葛飾区教育委員会より
- ・英語科 酒井 大樹先生 東久留米市立久留米中学校より
- ・英語科 トレンツめぐみ先生 育児休業より職場復帰
- ・事務主任 多胡 幸恵さん 清瀬市立清瀬第四中学校より
- ・栄養補助員 伊藤 頼子さん 練馬区立関中学校より



# 平成 2 7 年度 校内組織

クラス	担任氏名	副担任氏名	学年主任	分掌主任	
1-A	山邊 敦 (英語)	根津 克己(理科) 菅野 香菜子(国語) 加藤 千晶(養護)	山邊 敦	教 務	根津 克己(理科)
1-B	下山 由香里(家庭)			生 活	内池 啓子(社会)
1-C	箕浦 孝徳(数学)			進 路	牧野 和代(音楽)
1-D	宮坂 春子(保体)			保 健	加藤 千晶(養護)
2-A	武田 雅之(技術)	浅沼 和子(社会) 勢子 公男(数学) 宮内 敏之(理科)	武田 雅之	教育相談関係	
2-B	酒井 大樹(英語)			特別支援教育コーディネーター	武田 雅之
2-C	武田 哲平(保体)			スクールカウンセラー	足立 英彦
2-D	佐藤 ひろみ(国語)			心のふれあい相談員	三井 美奈子
2-E	牧野 和代(音楽)			学校生活支援員	高橋 麻彩子
3-A	齋藤 亮(数学)	八子 晃子(英語) トレンツめぐみ(英語) 藤森 陽司郎(理科)	日吉 斉	その他	
3-B	高野 正子(美術)			学力向上支援講師	藤本 文香(英語)
3-C	日吉 斉(保体)			学校図書館支援員	治田 幸恵
3-D	蓑輪 真希(国語)				
3-E	内池 啓子(社会)				
養護教諭		加藤 千晶			
事務主任	多胡 幸恵	用務スタッフ(民間委託 武翔)		給食関係(民間委託 シダックス)	
事務補助員	金原 智子	田中 匡	大久保 公子	福田 淑子	宮原 啓子
栄養補助員	伊藤 頼子	大関 和恵	浜本 勝枝	高橋 貴美子	多田 由美子
施設管理員(区シルバー人材センター)					
廣田 康憲	竹好 俊二	山口 雄三	千葉 祐亨	佐藤 多恵子	笠井 樹里
				福永 早恵	長島 幸恵
					瀧田 恵子

# 平成27年度 大泉学園中学校 第54回入学式

4月7日(火)に大泉学園中学校の入学式が実施されました。入学式には大勢の来賓の方々や保護者のご臨席をいただき、実施されました。入学式で述べられたご来賓の方々の祝辞や、新入生誓いの言葉、在校生歓迎の言葉を紹介いたします。

## 「祝辞」

大泉学園緑小学校校長 田頭 裕

皆さんは今日から、大泉学園中学校の一員となりました。

中学校時代は、人生の大切な基礎が作り上げられる時期と言えます。体も大きくなりますし、心も大変大きく成長する時期です。勉強や運動が小学校の時代に比べると、格段にできるようになります。しかし、人によって伸び方は同じではありません。自分より周りの人がよく見えるように見えて自信を失いかけることもあるかもしれません。そんな時は、今までの自分と比べてみてください。小学校の時の自分と比べてみてください。ずいぶんいろいろな事ができるようになっているはずです。自分に自信をもって中学校生活を送ってほしいと思います。

中学校では、基礎・基本を確実に身に付けるために、日々の学習をしっかりと行って下さい。また、休日や放課後には、スポーツや音楽等、自分の好きなことに没頭したり、ボランティアなどの奉仕活動をするのもいいです。自分の人生は自分で決めて、自分で進んでいくものです。自分はどんなことに向いているのか、自分はどんな道に進めばいいのか、自分をしっかり見つめ、自分さがしの旅の第一歩を踏み出して行ってください。

中学校では、小学校の時の友達に加え、他の小学校からの友達とも知り合うこととなります。また、先輩からもいろいろと教わることでしょう。一つの目標に向けて、力を合わせていくことで、友情が生まれてきます。たくさんの人との交流を通して、一生つきあっていける友達を見つけられたらとても素晴らしいことです。(一部抜粋)

## 「祝辞」

大泉学園中学校PTA会長 下村 恭子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

中学生として過ごす三年間は、小学生として過ごしてきた時間の半分ですが、心と体の成長は同じくらいか、それ以上になると思います。勉強やスポーツが本格的になり、学年での活動も、大人のもとを離れて自分たちで進めていきます。少し大きめの新しい制服・初めて会う友達・中には幼稚園が一緒だった子と再会する人もいるかもしれません。そして新しい先生たちや、これからお世話になる先輩たち…。今まではなかった体験でいろいろなことを学び、大きく成長されると思います。けれども時々、壁にぶつかることもあると思います。中学生といえば、小さな子供ではないけれど、大人でもない微妙な時期です。子供扱いされたかと思えば、大人としての態度を求められたりして、戸惑い不信感を抱くこともあると思います。また、勉強や部活、友だち関係での悩みなどが、今までよりも複雑になるかも知れません。そして、そんな時に話を聞いてくれる友達の存在を大切に思うようになると思います。これからの三年間でたくさんの友達と出会い、一生つき合える大切な友人をこの大泉学園中学校でみつけてください。(一部抜粋)

## 「新入生誓いの言葉」 1年B組 木村 美紅

今日あこがれだった制服に身を包み、大泉学園中学校の生徒としてここに入学式をむかえられたことを大変うれしく思います。・・・

新しい友達はあるだろうか・・私はこのような不安や心配を楽しいものに変えるために、四つの目標を立てました。

一つ目は、努力することです。どんどん難しくなっていく勉強についていくために、自分で予習・復習をしっかりと行っていきます。そして、中学校見学の時に知った海外派遣に行けるように、特に英語をがんばっていきます。



二つ目は、協力することです。先輩方と協力して、部活動で良い記録を残したいです。また、私が特に楽しみにしている臨海学校では、友達の気持ちを考えながら接していきたいです。そして、遠泳で自分の力をためし、泳ぎきりたいです。

三つ目は、ルールを守ることです。家庭で決められたルールを守って、安全で充実した中学校生活を送りたいです。

四つ目は、楽しむということです。めんどろな事、いやな事、不安な事をあきらめずに楽しみながら取り組んでいきたいです。

まだまだ分からないことや、不安なことがたくさんあると思いますが、先生方にご指導していただいたり、上級生の皆さんに支えてもらいながら、新しい仲間とともにがんばっていきます。(一部抜粋)

## 「在校生歓迎の言葉」 3年A組 田谷 泉

ようこそ大泉学園中学校へ。私たち、二年生、三年生は、今日の皆さんのご入学を心待ちにしていました。新しい制服に身を包んだ皆さんは、どのような気持ちで、大泉学園中学校の門をくぐってきたのでしょうか。わたしたち、在校生もちょうど一年前、二年前は、皆さんと同じ新入生でしたから、気持ちはよく分かります。今日から始まる新たな学校生活に期待する気持ち、



そして緊張と少しの不安を感じているのではないのでしょうか。皆さんが、一日も早く新しい学校生活に慣れ、楽しく、中学校生活を送れるように私たちは、精一杯お手伝いします。

小学校とは違う呼び名となる教科や新しくスタートする教科。教えてくださる先生が教科ごとになる教科担任制。そして、定期考査など、小学校から中学校への変化に、不安を感じている人は、少なくないと思います。けれども毎時間の授業を積極的に受け、復習などの努力を積み重ねれば必ず力になるでしょう。自分の力を信じて、努力を続けてください。今日から皆さんは、私たちの仲間です。困ったことがあったら、一人で悩まないでください。分からないことがあったら何でも聞いて下さい。必ず皆さんの力になります。私たちも、先輩たちから、たくさんの事を教わりました。私たち二年生、三年生も皆さんの良い手本でいられるように、一層気を引き締めて頑張っていきます。皆さんとともに、これからの大泉学園中学校を創り上げていけることをとてもうれしく思います。(一部抜粋)